

【ソフトウェア名称】

STEINS:SCOPE

【ソフトの概要】

量子力学的実験結果から立てた推論から着想した、直近の未来に起こる大きな出来事を予測する技術を実装した、中二病/科学オタク向けの未来予測及び過去の書き換わりの度合いを実験的に観測/検証するソフトウェア。

【作者への連絡先】

URL: <http://tondemoronbun.web.fc2.com/>

E-MAIL: darmath1107@yahoo.co.jp

※私がインターネット上で公開しているプログラム類に関する情報の提供は、上記 URL (私の個人サイト) にて行っております。

【取り扱い種別】

ドネーションウェア (フリーウェア (寄付歓迎))

当ソフトウェアは全機能を制限なしにご利用いただけます。

また、寄付につきましては、ベクター社のシェアレジサービスにて受け付けております。

ソフト名称 : STEINS:SCOPE / 1口:826円 (手数料及び税込1000円 (2018年8月現在))

http://shop.vector.co.jp/service/servlet/NCart.Add?ITEM_NO=SR425260

【動作環境】

・OS

WINDOWS: XP, VISTA, 7, 8, 8.1, 10

Linux: Wine 4.0.3 にて動作確認したところメモリリークの発生が確認されました.

短時間の動作の場合は兎も角, Linux 上での長時間の動作は困難と思われます.

・HDD/SSD

ログファイルの取得を継続的に行いたい場合は, ファイルの保存処理に影響が出ない程度に, 潤沢な HDD 容量を必要とする場合があります.

・CPU/メインメモリ

量子乱数データの分析処理に, 多くの計算資源を必要とする可能性があり, 高性能な CPU やメインメモリを要する場合があります.

・通信回線

量子乱数データの取得処理をインターネット経由で行いたい場合, 安定かつ高速なインターネット接続環境が必要となる場合があります.

・運用/保守環境

長時間分析を行う場合, マシンが過熱する可能性がありますので, 冷却対策や故障対策, 火災対策等にも注意して下さい. (複数のマシンをローテーションさせたり, 1 日 24 時間のフル稼働を断念する事も効果的と思えます.)

【アンインストール方法】

当該ファイル/ディレクトリの削除することで完了します.

レジストリに影響を与える仕様では有りません.

0. INTRODUCTION

当ソフトウェアは、中二病/科学オタク向けの未来予測及び過去の書き換えりの度合いを実験的に観測/検証するソフトウェアである。

私の提唱する理論に批判的な人が恐らく非常に多いだろうという事は想像が付いている。

その最大の根拠は、私が当理論を着想するに至った基となる量子力学的実験自体に否定的な人間が圧倒的に多いと思われるからである。

しかし、それでもそうした理論を着想し、技術的に当該理論を利用可能な状態に実装した事には、私なりに筋の通った理由がある。

以下に、当理論の着想と実装に至った経緯を記す。

まず、「中二病」という言葉が有ると思うが、私がここで言う「中二病」とは一般的に言われている中二病の定義とは異なる、私にとって非常に辛く苦しいエピソードに起因する病である。

私は、元々人と関わる事があまり得意では無かった様だ。

学生時代は、少数のクラスの除け者同士で適当にやり過ごしていた。

その傾向は、小学校の頃から大学卒業に至るまで、ずっとだったと思う。

ただ、だからと言って、皆でワイワイと群れる環境に行きたかったのかと言うと、そうでも無かったと思っている。

仮に、そうした集団に入っても、私は馴染める様な人間では無かったと思っているので、少数のコミュ障同士で適当にやり過ごす事が出来た事自体は、寧ろ幸運だったのではないかと思う事すらある。

しかし、どんなにクセのある人間だったとしても、限度と言うものはあるのではないかという話である。

私は、保育園～高校まである人物(Tさんとする)から卑劣な行為を受け続けていた。

前置きとして、ごく一時期ではあるが、私はTさんを少なからず良いヤツだと思っていた時期も有った事は認める。

しかし、それ以上に圧倒的に負の要素が多い人間であり、実は人間では無い醜悪な生物か何かなのではないかと真剣に思っていた。

まず、Tさんがどの様な人かと言うと、

A. 話す事の殆どが嘘.

「別に、嘘をつく必要が無いだろ?」と思う所まで嘘ばかり.

Tさんの嘘の事例に関しては挙げるとキリが無い.

「アイツ(Tさん)の言うことは全部嘘だ」と主張する人も居る.

B. やたら見栄を張る.

以下は一例であるが、Tさんは中学2年次に英検4級に落ちたが、同年冬には「別な場所で受験して英検4級に受かった」と主張していた.

しかし、中学3年次に、中学で行われた英検4級合格者としてTさんが合格証を貰っていた.

Tさんの主張が事実なら、何故2回も英検4級に合格する必要があったのか?

それに限らず、Tさんは性豪アピールが物凄かったが、Tさんが女と一緒にいる光景を、私は人生で一度も見ただ事は無かった.

Tさんが男と一緒にプリクラを撮っていた事は確認したので、もしかするとそう言う事かと思った事も有るが...

C. 自分をイケていると思い込んでいる.

自分をイケていると思い込む事が悪なのかどうかは私には明言出来ない.

しかし、Tさんははっきり言って醜悪な容姿だ.

私が人生の中で直接会った人間の中では、はっきり言ってTさんは一番気持ち悪い容姿だ.

Tさんの顔を例えるなら、「はだしのゲン」の画風でネズミ顔を描いた様な気持ち悪い顔だ.

中学2年次Tさんはクラスの人から「ドブネズミ」と呼ばれていたし、高校時代は女子生徒から「キモイ」と言われていたようだ.

しかし、Tさん本人は「俺ってカッコイイ」と自分自身で言っていたようだし、高校時代にTさんは他人に対して「俺はオマエみたいな顔で生まれて来なくて良かった。」等と暴言を吐き、言われた人はTさんに対してカッターナイフを突きつけながら怒り心頭に発する事態になった事も有るようなので、本人は余程自分の容姿に自信が有ったのだろう.

因みに、Tさんに暴言を吐かれたその人の顔はごく普通である.

その様な感じで、Tさんは周りからは明らかにイケていない人間に見られていたが、本人はイケていると思っている様で、イケている組に擦り寄るが中々相手にして貰えない.

何とか、イケている組に拾って貰えたら、今度は少数グループを侮辱し始め、攻撃し始める.

その後、Tさんがイケている組から除け者にされたら、今度は手の平を返して少数グループに擦り寄って来るのだが、その後、またイケている組に擦り寄っては、少数グループを攻撃し始める事の繰り返しだった.

その為、私も含め、多くの人がTさんから危害を被っていた.

嘗ての私は容姿その物で他人の人格までを批判する気は無かったし幾らルックスが良くても内面が伴っていなければ問題だろうとも思っていたが、Tさんから被った危害の一件で考えに変化は有った.

「容姿とは、人間の内面の表れの部分もあるのではないのだろうか?」と.

実際、私自身もTさんから被った過度なストレスの所為か高校頃から急に白髪が出始めたし、同時期、過度のストレスで、肌の調子も明らかにおかしくなっていた。(皮膚ではない別な物質に変化している感じだった)これは内面は容姿に表れる事の状況証拠なのかもしれないと思っている.

卑怯な行為を平然と行う人間は、その卑劣さが容姿に現れ、汚らしいネズミ顔になるのだらうと言う仮説は払拭出来ていない為、私はネズミ顔の人間を警戒している。

D. 自身の保身の為に、平然と他人を傷つける。

世の中、何かしら過失があった場合、一方が100%悪いと確実に言える事は殆ど無いのかもしれない。

突き詰めて考えれば、例えばある人が別なある人に殺されたとしても「そんな殺される様な場所に存在するのが悪い。」「この世に生を受けたのが悪い。」と、一見不可抗力に思える事案に関しても、邪論に捉えられるのかもしれないが、上記の様に主張しようと思えば出来る。

だからと言って、それは、どれだけ第三者から不可抗力と言える危害を被ったとしても、相手を糾弾する資格が無い理由になるとも思えない。

Tさんはとにかく、誰かと群れて、誰かを攻撃する事が好きな人間だ。

誰かを仲間にする場合も、嘘でも何でもいいから適当にでっち上げて、誰かと共通の敵を作ろうとするし、争い事を見かけたら、仲裁するのではなく、適当に片方に肩入れして、一方を「お前は悪い奴だ」と糾弾し、一方の人間を一方の人間を非難する仲間に引き込もうとする事が好きな人間だった。(そのTさんに肩入れされた事によりTさんの仲間にされた人間も後々悲惨な事になる傾向があるが。)

また、Tさん自身がTさん自身で過失があると認識している事案に関してまで、嘘をでっち上げて他人を悪者にする人間だった。

例えば、私の場合、中2の頃、Tさんからゲームボーイソフトの「ポケットモンスター 銀をあげる。」と言われた。

私は、別に要らなかったのだが、くれるのなら一応貰っておこうかと思って受け取った。

その後、暫くして、私の家にクラスの同級生から電話が掛かってきた。

同級生は「お前、Tさんを恐喝して、ポケモン銀を奪い取ったんだってな？ あれは、俺がTさんから受け取る約束の物だったんだぞ!!」と。

正直、一瞬何の話だったのか理解不能だったが、直ぐに状況は察した。

また、Tさんがでっち上げて私を悪者にしたのだらうと。

私は、事情を説明した所、同級生も「ああ、お前もTさんの被害者だったか。悪かった。」と納得したようだった。

翌日、Tさんは「どうしてもポケモン銀が必要になったから、1000円やるから返してくれ。」と。

Tさんは、私の制服の胸ポケットに1000円札を押し込んだ。

まあ、何とも虫が良いとは思ったが、ポケモン銀に関しては欲しがっている同級生に渡った方が良いだろうと思ひ、私はその翌日ポケモン銀を返却したが...

E. ハナクソをほじくる・話す時は唾を飛ばす・歯磨きしていないらしく、口臭も臭くて汚らしい。

Tさんはとにかく、ハナクソをほじって食べる汚いヤツだから、私に触らないで欲しかったし、口が汚い上に唾を飛ばすから、私に話しかけないで欲しかった。

私は、小学生の頃、急性胃腸炎になった事がある。

それで病院に連れられて行ったら、同じ病院にTさんも親に連れられていた。

Tさんも急性胃腸炎だったらしい。

急性胃腸炎は他人の唾から感染するらしいが、汚くて唾を飛ばすTさんの影響だとは思えなかった。

私は、高校時代、時計を鞆に取り付けていたが、Tさんは私の時計に勝手に触って見たりしているのが嫌だった。

ハナクソが付いた手で触られていると思うと不快で、Tさんに触られた後は、時計を石鹸で洗っていた。

……等と、Tさんは人間が持つ醜さを凝縮した様な人物だった。

それでは、私の抱えている中二病に関する説明に入る。

私に限った事では無いが、Tさんから危害を被った被害者は多数存在している。

但し、その中でも圧倒的に大きな被害を被ったのは私だったのかもしれない。

Tさんとの距離感と言うのは、本当に難しいと感じていた。

普通の人間は、関係に亀裂が入ったら、そのままお互い関わらない事で、何とかやり過ごせた。

しかし、Tさんはそんな事もお構いなしに付きまとう人間なのだ。

Tさんは相手に嫌われても、Tさん自身が相手に好感が有れば付きまとうし、Tさんに嫌われた相手は、相手としてはもう関わりたくなくても、相手にストーカー行為をして攻撃行為を繰り返す人間だった。

私にとってTさんは非常に面倒くさい相手だったが、中学2年次に私はTさんから陰湿な嫌がらせを毎日受け続けた。

それは、そもそもが、私が引いたくじ運の無さが発端なのかもしれないとも思っている。

もしかして、あの時、ちょっと掴むくじの場所が違っていたら、私の人生はもっと良い方向に変わっていたのだろうと思う。

そう、それは、クラスの席替えの場所を決めるくじ引きだった。

まさに、バタフライエフェクトに依り、私の人生は最悪な経過を辿り続けたと思っている。

私は、くじ引きで、Tさんの後ろの席になってしまったのだ。

Tさんは、私に良く話しかけて来た。

特に猥談を。

Tさんが良く話す内容は「俺は恋愛アドベンチャーゲームをやっていて、ONANIEをしまくっている。」「お前にもONANIEのやり方を教えてやる。まず、…[放送禁止用語連発の為割愛。]…。」「今日もONANIEして来た。なんだか俺の手から精〇の臭いがする。お前に付けてやる。」等と言った内容だった。

(※NOTE:因みに、当時私はパソコンを持っていなかった所以、恋愛アドベンチャーゲームとやらをやった事が有りませんでした。故に、恋愛アドベンチャーゲームの話なんてよく分かりませんでしたので、正直、私はコメント不能な内容ばかりでした。その3~5年後に始まってから2017年現在に至るまで続くオタクブームを切

欠に、齧る程度に恋愛アドベンチャーゲームとやらをやったかどうかと言う事についてまでは、敢えて申し上げませんが、私は暫くオタク文化からTさんから被った被害を連想し、PTSDに苛まれるという苦痛が続きました。）

それに不快感を覚えたTさんの隣の席に当たった女子生徒がTさんに対して、猥談の件で申し立てをしたところ、今度はTさんは、「こいつが言っているだけで俺は知らない。」等と言い、猥談の責任を全て私に押し付けたのだった。

その日から、私に地獄の日々が続いた。

- ・勝手にTさんに私の机を下げられる。
- ・Tさんに私の私物を破壊される。（文房具等が破壊される等。）
- ・Tさんから私の机に悪戯され続ける。（私の机に毎日のように男性性器の落書きがされたり、唾が吐きかけられる等。）
- ・私と無関係な人物の教科書に、私の名前と「死ね」の文字が書かれていたとの報告も出ている。

等が毎日続いたのだ。

Tさんも恐らく後には退けなくなっていたのかもしれない。

ある日、国語の担任だった教頭が「Tさんは全校で誰よりも早く登校している。素晴らしい。」と称賛していたので、まあ念のため証拠の確認をしようかと思い、私はTさんより早く登校して確認したが、犯人は案の定ですかね。

Tさんは私との関係が破断したので、Tさんの前の席のYさんに媚びて、Yさんのグループに擦り寄ったらしい。

Yさんのグループから数万でエロビデオを買い取ったり、煙草を提供する等、リップサービスや収賄を繰り返して、Yさんのグループに置いて貰って居たらしい。

Tさんは、その頃から、次第に非常にイカ臭くなっていった。

Tさんが教室に入ると、教室中が物凄くイカ臭くなるので、Tさんはクラスの皆や教員から「Tさんイカ臭い。」とのクレームを貰っていた。（Tさんは、それすら必死に私の所為にしようとしていたが、もはや誰もTさんを信じていなかった。）

私はTさんがイカ臭くて苦痛だったので、私の席は壁側で、壁の下に小窓があったので、その小窓を開けて、外の空気を吸おうとしていた為、前を向く事は出来ず、とてもでは無いが授業なんて出来なかった。

（※NOTE:私は、この事件から暫くして、イカ臭い臭いを嗅ぐ度に、Tさんから被った被害を想像し、PTSDに苛まれる様になっていった。）

その後、YさんはTさんを擁護し続けたようだが、それも次第に破綻していったようだ。

中2の終わり頃、Tさんは完全に独りぼっちになっていたようだ。

Tさんが私にやっている事が酷過ぎる事に怒りを感じた同級生がTさんをいたぶったりもしたようだが、それでもTさんからの嫌がらせは私に続いた。

寧ろ、Tさんの支離滅裂な思考回路では、「俺がいたぶられているのはコイツ(私)の所為だ。」になっていたのかも分からない。

そんなイカ臭くて汚くて気持ち悪いTさんにも転機が訪れたようだ。

学区の都合上、中学3年からTさんは別な中学に行くことになったのだ。

まあ、私も中学3年からTさんと同じ中学に行かなければならない学区だったので、私としては抜本的な解決にはなっていなかったのだが。

ただ、それでも私としても何かと助かった。

私は、中学3年次はTさんとは別なクラスだったのだ。

ストーカー気質のTさんも、流石に私にやった行為の度が酷過ぎる事を理解したのか、中学3年次は私に付きまとうような事をしないでくれた。

だが、私は、Tさんから被った被害からのPTSDに苛まれ続け、苦しみ続けていた。

私は中学3年のある日、PTSDに苛まれ、家で自分の机を叩が、その音を聞いた私の母親が私に怒鳴り付けた。

当時、私の兄が、何を思っかバンド活動を始め、夜な夜なアンプに繋いだギターを鳴らし始め、眠れない日々が続いたストレスとも相重なってか、私は発狂し始めた。

あの日、頭の中で、何かが壊れた事を感じた。

兄も、兄自身は他人に不満を平気でぶつけるが、私が兄に申し立てをすると、いつもの様に暴力を振るわれるので我慢していた部分はあった。

私は当初、軽く歌を口ずさむ程度の独り言を言う様になったが、それを母親が聞く度に私に大声で怒鳴りつけ、私が独り言を言うようになった事を私以外の家族と噂話をする様になったのだ。

私は、そうした噂話をされている事にも、常に監視されている事から来る精神的苦痛からも、更なるストレスを受け、精神状態は負の連鎖を辿り続けた。

そうこうしているうちに、高校受験のシーズンが来た。

Tさんと同じ高校だけには行きたくなかった。

私は数学だけは常に学年のトップクラスの成績だったし、その後に入學した高校での入學時の試験でも実際に学年1位の成績を収めた実績はあった。

が、他の教科の順位で言えば学年の下から数えた方が早そうな順位で有り、数値で解釈すると、アベレージ程度の高校しか目指せないだろうと思っていた。

Tさんは勉強が出来ないらしく、滑り止めで最低ランクレベルの高校に予め受験していたという話も小耳に挿んだので恐らく、その程度の高校に行くのだろうと私は思い込んでいた。

しかし、その後の、同じ高校を受験する者同士で集まる中学側の授業があったのだが、なんと、そこにTさんが居たのだった。

私は、「何でもっとちゃんと調査しなかったのだろう。」「取り返しのつかない選択をしてしまった。」と、酷く後悔した。

もう、願書は提出済みであり、後戻りは出来なかった。

仕方なく、私はその高校に受験しに行ったのだった。

もう、解答用紙を白紙で提出して、わざと高校に落ちようかとも悩んだが、「仮にこの高校に落ちたら、その後、どうなる?」「もしかすると、Tさんはこの高校に落ちるかもしれないのに、ここでわざと自分が高校に落ちたとしたら、寧ろ、尚更Tさんと一緒の高校になりかねないのでは?」等と思い、一応真面目に回答して、試験には合格しておくことにした。

しかし、不運な事に、Tさんは試験に受かっていたのだ。

そして、その流れで、私は合格した高校に行くことにしたのだ。

そして、入學時のクラス発表の紙を見て更に悲劇が起こった。

クラスは6クラスあり、うち2クラスが英語科である。

私は普通科に受験したので、Tさんと同じクラスになる確率は25%と見積もれたが、その25%の確率が発生し、Tさんと同じクラスになってしまったのだ。

「何故ここまで運が無いのだ!!」と私は自分の運の無さを酷く嘆いた。

教室に入ると、見るだけで精神的に苦痛なTさんが居た。

高校に合格した事を喜び合っている生徒で溢れる中、私は、高校に合格してしまった事を酷く後悔し、早くもうんざりしていた。

そして、早速Ｔさんが私に話しかけて来た。

まあ、最初は適当に対応していたが、その時は攻撃的な態度が見られなかったので、「もしかするとＴさんも少しは大人になって改心したのかもしれない。そうだとしたら、私がＴさんを見下したり攻撃的な態度をとる事は、寧ろ私の方が大人げないのではないか。」とも思い、Ｔさんに少なからず相手にするようになっていった。

ただ、それは、やはりと言うか、私の思い違いだった。

Ｔさんは直ぐに本性を現した。

Ｔさんは、私が掃除当番でＴさんが掃除当番ではない時に、私に掃除をサボってＴさんと一緒に帰る様に強要し始めたのだ。

はっきり言って迷惑だった。

私はちゃんと掃除しに行きたかった。

しかし、私は、ここでＴさんに盾突く様な行為をすると、またＴさんに嫌がらせされるのではないかと疑心暗鬼になっていた。

仕方なくＴさんに合わせてサボったが、私はその後教員に呼び出され、掃除をサボった件で罰として一人で掃除させられた上、物凄い説教を喰らった。

では、Ｔさんは私と一緒に帰る為に自分は掃除をサボったりするのかと言うとそうでは無い。

私に自分が掃除が終わるまで待つように強要したりするのだ。

実に自己中心的な人だった。

流石にあまりにも迷惑なので、私が先に帰ろうとしたら、「今度はちゃんとお前が掃除終わるまで待つから、待っていてくれ。」と私に懇願し始めたのだ。

まず、何で一人で帰宅できないのかが理解出来なかったのだが、流石に鬱陶しいので私は「Ｔさんは私の掃除が終わるまで待たないのだから理不尽だ。帰らせて貰う。」と言い突っ撥ねた。（と言うか、私はＴさんと一緒に帰りたくないと思っていたのではあったが。）

そう言うのと、早速Ｔさんは別な同級生に付きまとい始めて、内心やっとＴさんが居なくなってくれたと喜んでいたら、そうした事もつかの間、その後、様々なＴさんからの危害を被り続ける事になったのだ。

以下、高校1年次にTさんから被った被害から何点かを抜粋、

A. Tさんは私の事を「不良グループのリーダー格の人間」だという馬鹿げた噂を流布し、私の名前を出して「俺に金を払えば、アイツ(私)はお前をボコらないで許してやる。」という、ふざけた理由で様々な生徒を恐喝し金を巻き上げていた。

その後、私に対してある生徒から「アンタが俺の事をボコるというから金を払ったんだ!! 金を返してくれ!!」という意味不明な請求が私に来た事から発覚した。

被害者はその他数名居るようだった。

因みに、私もTさんから「不良グループにオマエの家に押しかけてボコって貰うから、オマエの家に単車が並ぶから。」と脅迫された事も有る。来た事は無いけど。

(※NOTE: と言うか、高校って何で馬鹿げた噂話が普通に広まって、それが事実であるかのように扱われるのだろう? もしかすると、噂話に乗らないと自分が除け者にされるという恐怖から来ているのかもしれない。 実際、ゲイ扱いされて除け者にされていた同級生等がおり、少数組の私のところに彼も来た。 私は普通の人だと思って対応していたが、私までゲイだと糾弾され始め、苦痛だったので距離を置くことにした。 今思うと私も申し訳ない事をしたと思っている部分はある。)

B. 私は授業をサボる事までもTさんに強要され、心的外傷要因から断り切れず、Tさんの要求通り授業をサボり続け、学校の成績はガタ落ちの一途だった。

また、Tさんにサボらされた上、私はその後、酷い風邪を引いた為、欠席日数の一番多い生徒として反省文を原稿用紙10枚書かされる罰を受けた。

C. Tさんが一緒に帰る事を強要する人間は私だけでは無く、もう一人野球部員の生徒が居た。

その際、Tさんは私ともう一人の野球部員を喫煙に立ち会わせた。(私と野球部員の生徒は喫煙しておらず、Tさんが喫煙を終えるまで待たされていただけ。)

その後、Tさんが、煙草を購入している所を店員に捕らえられ、高校側に通報される事態になった。

Tさんは「教員たちは俺の話術に引っ掛かっているから心配無い。」と豪語していた様だが、Tさんは教員から尋問され、全てを正直に答えてしまったのか、また嘘をついて他人の所為にしたのかは不明だが、私と野球部員の生徒も教員に呼び出され、”喫煙同席者”という者に認定されるペナルティを受けた上、野球部員が居た事から、高野連側にも通報が行ったらしく、上記高校はどう足掻いても甲子園に行けない制裁が下った事が正式に決まったらしく、野球部員全員がTさんにブチ切れ状態だった。

Tさんは停学中で全貌を知らないのかもしれないが、Tさんの停学期間中、学年全体がTさんの悪口で溢れていた。

こうして、最悪な精神状態の高校1年が続いたのだ。

高校2年になると、クラス替えで私はTさんとは別なクラスになった。

中学2年次、高校1年次と散々私に迷惑を掛けている事を理解出来ているのなら、中の下程度の空気の読めない部類の人間でも空気を読んで、クラスも変わった事だし、私との距離を置いてくれるだろうとは少なからず期待していたが、高校2年次もTさんは私のクラスに来てまで私に付きまとい始めた。

想像は難くないかもしれないが、高校2年次も私はTさんから危害を被り続け、他にもTさんの被害者が続出していたようである。

高校3年も私はTさんと別なクラスだったが、Tさんは学年が変わればまた私が許してくれるとでも思っているのだろうか、私のクラスに来て、また私に付きまとい始めたが、何とか無視し続けた。

無視し続けたというより、もはや精神的に参っていて、Tさんに対応する精神的余裕なんて無かったのかもしれない。

しかし、そのお陰で、高校3年次は1~2年次に比較すると大幅に楽だったと思っている。(それでも非常に鬱ではあったが。)

ただ、それから、大学に進学しても、社会に出ても、私はTさんから被った数々の嫌がらせを思い出してしまい、PTSDに苛まれ続ける人生を歩み続ける事になった。

例えば、

- A.「中二病という言葉を見る。」→「中二の時にTさんから被った嫌がらせを連想してしまう。」
- B.「イカ臭い臭いを嗅ぐ。」→「イカ臭いTさんから被った嫌がらせを連想してしまう。」
- C.「ネズミを見る。」→「ネズミ顔の卑怯臭いTさんから被った嫌がらせを連想してしまう。」
- D.「ハナクソをほじっている人を見る。」→「ハナクソをほじっている汚いTさんから被った嫌がらせを連想してしまう。」
- E.「歯磨きしていない、口臭がやたら臭い人の息を嗅ぐ。」→「歯磨きしていない、口臭がやたら臭いTさんから被った嫌がらせを連想してしまう。」
- F.「電車のつり革をつかんだら、ヌメっとする。」→「ハナクソでベトベトしている手で、他人の私物に触る、汚いTさんから被った嫌がらせを連想してしまう。」

等である。

また、ネズミを殺してくれる「ネコ」を見ると、強い安心感を覚える様にもなった。

その為、一般人には些細とも思える事かもしれない事で、私は急劇に精神的に追い詰められてしまい、仕事も続かなかった。

その後も、犯罪に巻き込まれたり、精神科で誤診され薬漬けにされたり、精神障害の為1日で解職させられたりと、絵に描いたような災難な人生を歩み続けた。

ただ、どれだけ私が人生の選択ミスを取り返しても、一番の選択ミスは高校の選択ミスだったと思っている。

少なくとも2017年現在、私にとって、人生で一番大きな選択ミスは高校の選択ミスだったと思っている。

中学二年の時の席替えのクジ運の無さは、捉え方次第では諦めが付く。

「Tさんの卑劣さが痛いほど良く分かったので、中学卒業後はTさんと同じ高校には行かない様に気を付ける事が出来た。」というデータを得る事が出来たと考えれば、寧ろ、貧乏くじも当たりくじに思えなくもない。

しかし、「Tさんがもっと底辺の高校に行くだろう。」と憶測で解釈して、高校に願書を出してしまった事は、私の行動次第では回避できた事案に思えてならないのである。

「過去にとらわれない事が大切。」とは言うが、私がTさんから被った被害は、余りにも大きすぎて、単純に割り切れない事案でもあるのだ。

「もし、今の知識を持って、過去に戻れるのであれば、過去に戻って人生を変えたい。」

そう思った事のある人は、それなりに人生経験を積んだ人であれば、誰しものが何度かは思った事があるのかもしれない。

しかし、こうして心身を害し続けて来た私は、「可能であれば、過去に戻って人生を変えたい。」という想いを、2017年現在、15年以上に亘って引きずっている部分はある。

しかし、「過去に戻れるタイムマシンなんて作れるのか?」と言うと、それは、世界中の天才と言われている多くの物理学者達も無理だと考えている様だ。

仮に、過去に戻る事が出来ると言う、BACK TO THE FUTUREに登場するデロリアンでも有ったとしたら、今の私なら躊躇いなく乗るかもしれない。

仮に、過去の書き換えに活動に失敗して、私が命を落とす事になる可能性があったとしても、現在の世界に戻れなくなる可能性があったとしても、Tさんから被ったPTSDに苛まれ続け、苦しみながら生きるよりは遥かにマシかもしれないと考えているからだ。

そんな事を思っているうちに、実は過去の書き換えは科学的に可能かもしれないという理論を着想するに至った。

しかも、自分が実際に過去に行かずして。

ある日、高校時代の友人宅(当然Tさんである訳が無い。)にてテレビ番組(NHKだったと思われる)を観ていたところ、「地球意識プロジェクト」なるものの特集が出ていた。

友人は「これ、どう思うよ?」と。

私は、地球意識プロジェクト自体をその番組で初めて知ったのだが、「そんなバカげた話がある訳が無い。」と思い、友人に量子乱数生成器の歴史とその原理等を説明しながら、否定的な見解を続けたのだが、友人側から、更に質問と反論が続き、更に、友人の反論を埋め合わせをする仮説についても理論展開も続けたのだが、最終的には、どうしても完全に否定できない状態になり、最終的に友人が腑に落ちた状態の私の立てた仮説が出来た。

それは、

「量子乱数生成器は本来、0(光がハーフミラー等を透過せず、観測されなかった状態。)になるべき状態でも、その他のパラレルワールドに存在する世界では光子が観測され、結果として1(光子が観測された状態)に隔たる可能性は否定できない。」

という仮説である。

ただ、私としては、やはりそんなバカげた話がある筈が無いという想いが強く、「この世界はどうなっているのだろうか?」という根本的な部分から考察し、「仮に地球意識プロジェクトの実験結果が正当なものとしたら、世界はどのような原理で動いているのだろうか?」という観点から仮説を立て、それはやはり有り得ないだろうという見解を示そうと考えた。

その、世界の動作原理とは、概ね以下の様なものである。

- A. 過去や現在や未来という世界は、時間と共に変化して無くなるものでも無く、永続的に一つの世界として存在し続ける。
- B. 世界は絶え間なく分裂を繰り返し、世界の次元は限りなく増え続けている。
- C. 時間とは、一種の距離に相当するものであり、光速でその時間軸に向かい、新たな世界が分裂及び他の世界との重ね合わせが繰り返されながら、世界は絶え間なく合成され続けている。
- D. 生成された未来の世界は過去の世界との重ね合わせも行われ、現在の世界は、生成された直近の未来や過過程強く量子力学的重ね合わせの影響を受ける。
- E. 自分の意識が存在する「現在」という世界は直近の未来や過過程強く影響し合い、遠くの未来程、その量子力学的重ね合わせの影響は指数減少する。
- F. 自分の意識が存在する「現在」という世界も直近の過去の世界と量子力学的重ね合わせをしあう為、非常に僅かではあるが、少しずつ過去は書き換わっている。
- G. 非常に大きな世界のエネルギーを用意出来れば、理論上、自分の意識が存在する「現在」という世界の影響を強く過去の世界と重ね合わせ可能と考えられる為、自分の意識を「現在」という世界に置きながらにして過去を改変する事は可能と言えるのかもしれない。
- H. 過去の書き換えに成功してその書き変わった過去の影響が、自分の意識が存在する「現在」という世界に到達すると、自分の意識が存在する「現在」という世界も改変されるが、自分自身には過去が書き換わった自覚も無い。
- I. 時間と距離の関係は実質同値のパラメータである為、現在自分が存在する場所からかけ離れた世界のエネルギーを、現在自分が存在する場所に抽出する事が出来れば、局所的な過去の世界の書き換えは、現在宇宙に存在するエネルギーからも可能なのかもしれない。(それは、量子力学的な世界の重ね合わせによる、パラレルワールド上のエネルギーでも構わないと思える。)

その他、地球意識プロジェクトの実験結果から導き出された世界の動作原理はまだ存在するが、過去の書き換え部分の説明に関してはこの程度の原理で説明可能と思える為、割愛させて頂く。

そこで、観測可能な世界のエネルギーを1とした場合、自分の意識が存在する「現在」という世界と、「過去」や「未来」の量子力学的な世界の重ね合わせの影響は時間が離れるに従い指数減少する事から、仮に時間が過去

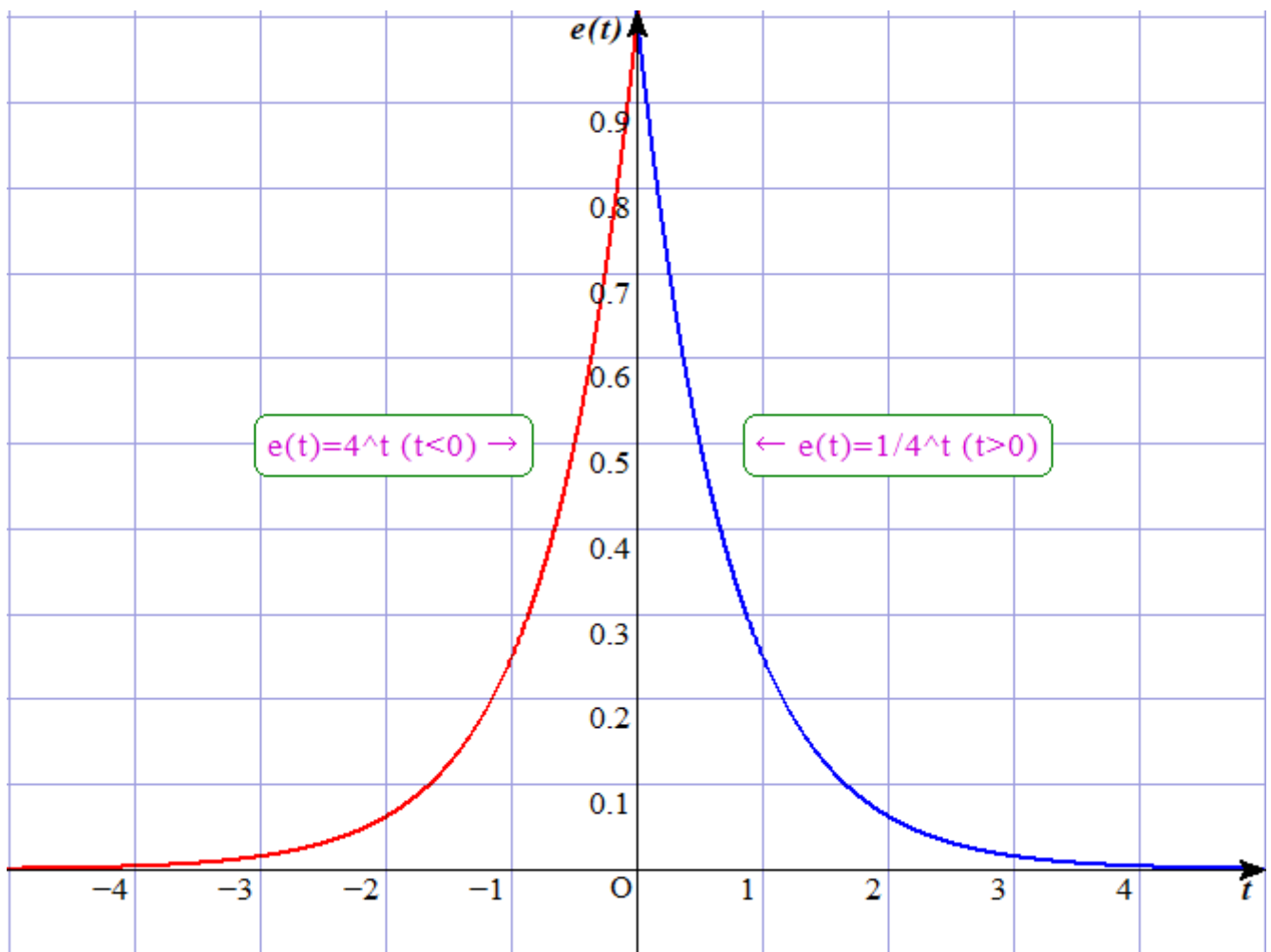
にも未来にも無限に存在すると仮定した場合、自分の意識が存在する「現在」という時間から起算した相対的な時間を t 、自分の意識が存在する「現在」という時間から起算した相対的な時間に存在する世界の影響を $e(t)$ と置くと、

$$e(t) = 4^t (t < 0) + \frac{1}{4^t} (t > 0)$$

$$\int_{-\infty}^{\infty} e(t) dt = 1$$

が概ね成立すると考えられる。

そして、この $e(t)$ をグラフ化すると、以下の様になる。



このグラフを見ると、 $t=\pm 4$ 程度から目に見えて観測可能と言える。

実は、地球意識プロジェクトに於いても、2001 年 9 月 11 日のテロ事件の日には事件の 4 時間前から乱数の隔たりが観測され始めていたという。

仮にその当時の乱数の隔たりの統計学的分析を1時間単位で行っていたとしたら、確かに私の仮説上、自分の意識が存在する「現在」という時間から4時間先の世界から目に見えて観測可能と言えるので矛盾は生じていないのである。

これは私の地球意識プロジェクトに対する考えを大きく変え、「実は、地球意識プロジェクトの分析はデタラメではないのではないか?」「未来は既に創造されているのではないか?」という考えの確信に近づいたのである。

また、この理論を応用すれば、例えば、2時間単位での量子乱数生成器の統計をとる事で、8時間先の未来から観測可能となり、1日単位での量子乱数生成器の統計をとる事で、4日先の未来から観測可能と考えられる。

つまり、複数のタイムフレーム上で統計学的分析を行う事で、未来に起こり得る大きな出来事等を、自分の意識が存在する「現在」という時間からも観測可能なのではないかと考えられる。

当、ソフトウェアは、まず、抜本的な過去の書き換え理論の構築前にデータを採取して検証すべきだろう、未来の世界の影響が、その様な形で、未来の世界から見て過去である、自分の意識が存在する「現在」という時間にどの様に影響を及ぼすのかを観測する実験を可能にするためのソフトウェアである。

因みに、現在の私の予想であるが、そうした量子レベル、意識レベルの事案に関しては、何らかの形で、自分の意識が存在する「現在」という時間が存在する世界を操作する事で改変可能と考えている。

その根拠は、私が中学3年次のある時期に「この高校は絶対にやめるべきだ。」という論理的な根拠が乏しいが、私の出身高校に非常に強い否定的な感情に苛まれる時期が続いたからだ。

私はそれを、何かの思い過ごしだろうと思って、私は成績から判断して当該高校に応募したのだが、その後、「実はあの非常に強い否定的な感情は、未来の自分からのメッセージだったのではないか?」と真剣に考えていた時期は続いたし、現在の私もそうだと思っている。

そう、未来の私が過去の自分の意識を変化させ、私自身の過去を改変し得る技術を編み出し、中学3年次の私の行動を操作しようとした可能性があると思えるのだ。

私は、未来の私が失敗した過去を、今度こそ改変し、私の人生を変化させたいと思っている。

因みに、今の私が、中学3年次の私をどの様に変化させたいかというならば。

A. 高校に行かないで、大学検定(現:高卒認定)を受けて、金銭面/時間的コスト面/精神的負担を楽に高校卒業資格を得て、普通に大学に進学させる。

B. 当時、自衛隊から赤紙みたいなのが来たが、普通にそれに応募して自衛官になっておく。

のどちらかを、過去の自分に指南したいと考えている。

1. 当ソフトウェアの仕様について

当ソフトウェアのインターフェースは以下の様になっております。

STEINS SCOPE

ツール(T) ヘルプ(H)

ANALYTICS INFORMATION

TIME FRAME	3 OLD FRAMES	2 OLD FRAMES	1 OLD FRAME	CURRENT FRAME	VALUE
7.5 MINUTES	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	HIGH:1
- 平均	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	
- 標準偏差	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	LOW:0
	未計算	未計算	未計算	未計算	

TIME FRAME	3 OLD FRAMES	2 OLD FRAMES	1 OLD FRAME	CURRENT FRAME	VALUE
15 MINUTES	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	HIGH:1
- 平均	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	
- 標準偏差	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	LOW:0
	未計算	未計算	未計算	未計算	

TIME FRAME	3 OLD FRAMES	2 OLD FRAMES	1 OLD FRAME	CURRENT FRAME	VALUE
30 MINUTES	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	HIGH:1
- 平均	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	
- 標準偏差	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	LOW:0
	未計算	未計算	未計算	未計算	

TIME FRAME	3 OLD FRAMES	2 OLD FRAMES	1 OLD FRAME	CURRENT FRAME	VALUE
60 MINUTES	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	HIGH:1
- 平均	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	
- 標準偏差	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	LOW:0
	未計算	未計算	未計算	未計算	

ENVIRONMENT INFORMATION

DATE:2019-12-22(SUN) 21:33:24
PROCESSING STATUS:STOPPED
LOG OUTPUT STATUS:OFF
SAMPLING BLOCK SIZE:32 - 512 [HEX DATAS]
SOURCE DATA:<https://qrng.anu.edu.au/RawHex.php>
SOURCE TYPE:ON WEB

RANDOMIZE DATA

7.5M:0000000000000000 , 15M:0000000000000000
30M:0000000000000000 , 1H:0000000000000000

CONTROL PANEL

STARTSTOPRESET

1-1. ANALYSTICS INFORMATION 欄

ANALYTICS INFORMATION					
TIME FRAME	3 OLD FRAMES	2 OLD FRAMES	1 OLD FRAME	CURRENT FRAME	VALUE
7.5 MINUTES	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:001024(HIGH)	HIGH:1
- 平均	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.490234(LOW)	
- 標準偏差	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.499905(LOW)	LOW:0
	未計算	未計算	未計算	計算中	
TIME FRAME	3 OLD FRAMES	2 OLD FRAMES	1 OLD FRAME	CURRENT FRAME	VALUE
15 MINUTES	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:001024(HIGH)	HIGH:1
- 平均	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.506348(HIGH)	
- 標準偏差	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.499960(LOW)	LOW:0
	未計算	未計算	未計算	計算中	
TIME FRAME	3 OLD FRAMES	2 OLD FRAMES	1 OLD FRAME	CURRENT FRAME	VALUE
30 MINUTES	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:001024(HIGH)	HIGH:1
- 平均	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500488(HIGH)	
- 標準偏差	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(LOW)	LOW:0
	未計算	未計算	未計算	計算中	
TIME FRAME	3 OLD FRAMES	2 OLD FRAMES	1 OLD FRAME	CURRENT FRAME	VALUE
60 MINUTES	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:000000(EQUAL)	母数:001024(HIGH)	HIGH:1
- 平均	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.500000(EQUAL)	平均:0.502197(HIGH)	
- 標準偏差	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.500000(EQUAL)	偏差:0.499995(LOW)	LOW:0
	未計算	未計算	未計算	計算中	

表示されている取得した量子乱数データの分析結果は、上から順に、「7分30秒」「15分」「30分」「1時間」のタイムフレームで分析結果がリアルタイムに表示されます。

現在分析中のタイムフレームの分析結果は「CURRENT FRAME」に表示され、その1フレーム前の分析結果は「1 OLD FRAME」に表示され、更にその1フレーム前の分析結果は「2 OLD FRAMES」に、同様に、更にその1フレーム前の分析結果は「3 OLD FRAMES」に表示され、計4フレームの分析結果が表示されます。

これは、私の理論上は、ある単位期間に対して、4程度先の未来から目に見えて影響を観測可能と考えられている為です。

各タイムフレームの背景にある、グラフは取得した量子乱数データの平均値と標準偏差を各タイムフレーム毎に結んだものです。

「水色」が平均値を表し、「黄色」が標準偏差を表しています。

これらのグラフが上方に位置する程1に近づき、下に位置する程0に近づいている事を意味しています。

各タイムフレームの全面に表示されている数値データは、上から「母数」「平均値」「偏差」「ステータス」を表しています。

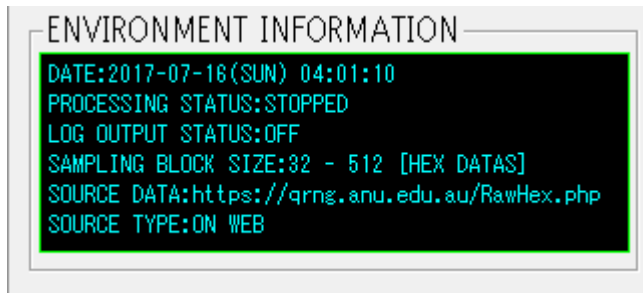
「母数」は16進数の量子乱数データが同一タイムフレーム内にて、何桁取得されたのかを表しています。（その末尾にある” (HIGH)” , ” (EQUAL)” , ” (LOW)” の表示は、直前のフレームと比較した結果を表しており、” (HIGH)” は直前のフレームより高い数値だった場合、” (EQUAL)” は直前のフレームと等しい数値だった場合、” (LOW)” は直前のフレームより低い数値だった場合を表しています。）

「偏差」は取得された 16 進数の量子乱数データを 2 進数化したものの標準偏差を表しています。（その末尾にある”（HIGH）”，”（EQUAL）”，”（LOW）”の表示は、直前のフレームと比較した結果を表しており，”（HIGH）”は直前のフレームより高い数値だった場合，”（EQUAL）”は直前のフレームと等しい数値だった場合，”（LOW）”は直前のフレームより低い数値だった場合を表しています。）

また、計算過程でノイズ(計算処理を人為的に停止された場合、計算中に計算結果に客観性を毀損する設定変更が行われた場合、乱数の取得処理に障害が発生した場合等)が発生した場合には、上記ステータスの末尾に” (ノイズ有)” のステータスも付加されます。

[illegible]

1-2. ENVIRONMENT INFORMATION 欄



各項目は、以下の環境情報を表しています。

項目名	内容
DATE	現在の日付を表示しています。 故に、時計表示ソフトとしても利用可能です。
PROSESSING STATUS	現在のソフトウェアの動作状態を表示しています。 STOPPED:分析処理停止中。 PROSESSING:分析処理稼働中。 なお、STOPPED/ PROSESSING の切り替えは、CONTROL PANEL 欄にて行います。
LOG OUTPUT STATUS	取得した乱数の分析結果の出力設定を表示しています。 OFF: 取得した乱数の分析結果を出力しません。 ON: 取得した乱数の分析結果を出力します。 ログファイルは、当ソフトウェアのカレントディレクトリ上にある log_files 以下に、各タイムフレームの切り替わり時に分析結果が記録されたファイルが生成されます。 なお、ログファイルの出力設定の変更は、メニュー欄の「ツール」→「ログ出力設定(L)」から行います。
SAMPLING BLOCK SIZE	乱数取得処理/分析処理は、5 秒毎に行われますが、その際に取得される、16 進数での桁数が表示されます。(初期値は最大 512 桁=2048bit) 最低 32 桁 (=128bit) ~SAMPLING BLOCK SIZE に指定された桁数まで、取得先から取得できるだけ取り出し、分析処理が行われます。 ロジックとしては、取得先の最初の文字から走査して、最初に 32 桁以上の 16 進数データを検出出来た個所から SAMPLING BLOCK SIZE に指定された桁数までデータを抽出する仕様です。(SAMPLING BLOCK SIZE は最大 1024 桁まで設定可能ですので、実験に使用するマシンの能力に合わせて変更しても宜しいかと思います。)

なお、乱数データの取得先の 16 進数は ASCII CODE 等の文字データで記述されている必要があります。

SAMPLING BLOCK SIZE の変更は、メニュー欄の「ツール」→「乱数取得ブロック数設定 (B)」から行います。

SOURCE DATA

乱数の取得先が表示されています。

URI 若しくは、ローカルマシン上のファイル名が表示されます。

初期値は、オーストラリア国立大学がインターネット上で提供している 16 進数の量子乱数データである、「<https://qrng.anu.edu.au/RawHex.php>」が指定されています。

変更する場合には、メニュー欄の「ツール」→「乱数取得先設定 (S)」から行います。

※2020 年 1 月 4 日現在、サーバである、「qrng.anu.edu.au」が機能していない状態でした。

SOURCE TYPE

SOURCE TYPE には、SOURCE DATA が WEB 上のものであるのか、ローカルマシン上のものであるのかが判定された結果が記されています。

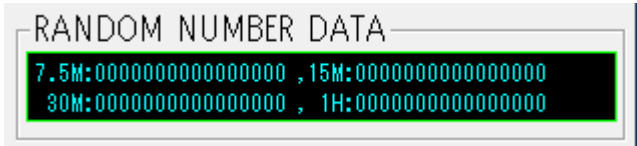
ON WEB: URI だと判定された場合。

LOCAL FILE: ローカルマシン上のファイルだと判定された場合。

上記判定処理が正常に行われていない場合には、正常に分析が行われない可能性がありますので、十分にご確認下さい。

因みに、判定処理は、「SOURCE DATA」に「/」（スラッシュ）が含まれている場合には URI、そうでは無い場合はローカルマシン上のファイルだと判定されますので、吟味して指定して下さい。

1-3. RANDOM NUMBER DATA 欄



それぞれのタイムフレームにて、直近に取得した乱数データの、16進数での先頭16桁(64[bit])を表示しています。

乱数データの取得処理が、正常に行われているのかどうかを確認する為に、追加した機能になります。

項目名	表示内容
7.5M	7分30秒のタイムフレームにて、直近に取得した乱数データの、16進数での先頭16桁(64[bit])を表示しています。
15M	15分のタイムフレームにて、直近に取得した乱数データの、16進数での先頭16桁(64[bit])を表示しています。
30M	30分のタイムフレームにて、直近に取得した乱数データの、16進数での先頭16桁(64[bit])を表示しています。
1H	1時間のタイムフレームにて、直近に取得した乱数データの、16進数での先頭16桁(64[bit])を表示しています。

1-3. CONTROL PANEL 欄



CONTROL PANEL 欄の各ボタンは以下の機能を持っています.

ボタン名	機能
START	乱数データの取得/分析処理 を開始します.
STOP	乱数データの取得/分析処理 を一時的に停止します. なお, 乱数データの取得/分析処理 が稼働中の場合に当該ボタンがクリックされた場合, CURRENT FRAME にはノイズの検知が結果に付加されます. 乱数データの取得/分析処理 を再開する場合は START ボタンを再度クリックして下さい.
RESET	乱数データの取得/分析処理 を停止し, 取得した乱数データ及び分析結果を破棄します. 但し, それまでに出力されたログファイルまでもが破棄される訳では有りません.

1-4. 「メニュー」→「ツール」

メニューの「ツール」には、以下の項目が存在します。

それぞれの項目の意味と機能を解説します。

項目名

機能

乱数取得先設定 (S)



SAVE: 現在テキストボックス内に入力されている乱数取得先をファイルに記録し、乱数取得先に設定します。

なお、計算中に乱数取得先が変更された場合、当該 CURRENT FRAME にはノイズの検知情報が付加されます。

CANCEL: 現在のテキストボックス内に入力されている内容の如何に関わらず、乱数取得先を変更しないまま、ダイアログを終了します。

RESET: テキストボックス内に初期状態の乱数取得先である「<https://qrng.anu.edu.au/RawHex.php>」を設定します。

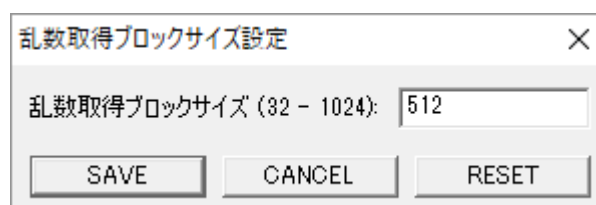
この段階では、テキストボックス内に初期値が設定されただけで、設定の保存には至っていません。

OPEN FILE: ローカルマシン上のファイルのパスを、API を用いて検索したい場合に使用します。

ローカルマシン上のファイルのパスを、直接入力しても問題ありません。

その場合、絶対パスで入力して下さい。

乱数取得ブロックサイズ設定 (B)



SAVE: 現在テキストボックス内に入力されている乱数取得ブロックサイズをファイルに記録し、乱数取得ブロックサイズに設定します。

32～1024 の値を設定して下さい。

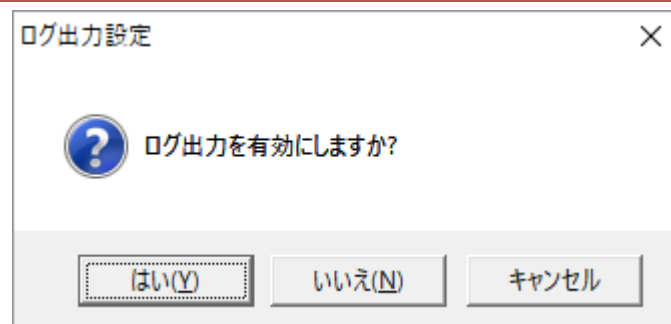
仮に、テキストボックス内に 32 未満の値が入力された場合は 32 に、1024 を超過した値が入力された場合は 1024 に設定されますが、常識外の入力をした場合には、32 未満の値が入力された場合に 1024 に設定される場合や 1024 を超過した値が入力された場合に 32 が設定される可能性も有ります。

CANCEL: 現在のテキストボックス内に入力されている内容の如何に関わらず、乱数取得ブロックサイズを変更しないまま、ダイアログを終了します。

RESET: テキストボックス内に初期状態の乱数取得ブロックサイズである、512 が設定されます。

この段階では、テキストボックス内に初期値が設定されただけで、設定の保存には至っていません。

ログ出力設定 (L)



はい (Y) : ログ出力を有効にします。

いいえ (N) : ログ出力を無効にします。

キャンセル: 設定を変更せずに、ダイアログを終了します。


アプリケーションの終了 (X)

当ソフトウェアを終了します。

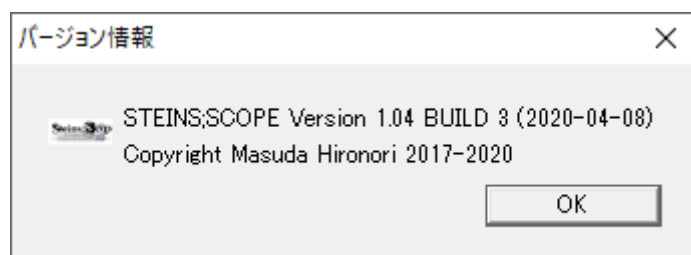
1-5.「メニュー」→「ヘルプ」

メニューの「ヘルプ」には、以下の項目が存在します。

それぞれの項目の意味と機能を解説します。

項目名	機能
E START アプリ インストール(E)	<p>GMO インサイト株式会社提供の「E START アプリ」のインストールを希望する場合の選択項目です。</p> <p>必要に応じて、利用規約に同意の上、利用を検討して下さい。</p> <p>※「E START アプリ」の対応 OS は、Windows 7 及び 10 となります。</p>
バージョンアップ確認(Q)	<div><div><div>バージョンアップ確認</div><div> このソフトウェアは最新バージョンです。</div><div>OK</div></div></div> <p>「このソフトウェアは最新バージョンです。」と表示されていた場合、当ソフトウェアは最新バージョンです。</p> <p>インターネット接続に異常があった場合等、WEB サーバから、最新版のバージョン情報を取得できなかった場合は、</p> <div><div><div>ERROR!!</div><div> エラーコード:02-01 WEBサーバへのアクセスに失敗しました。</div><div>OK</div></div></div> <p>の様に表示されます。</p> <p>そうでは無く、最新バージョンの案内があった場合、最新バージョンが VECTOR 社にて公開されている可能性がありますので、ご確認ください。</p>

バージョン情報 (A)



現在稼働している，当ソフトウェアのバージョン情報を確認可能です．

2. 使用方法について

2-1. 分析結果の着眼点について

私の理論上、光子が装置で検出された場合に 1、そうでは無い場合に 0 と抽出される量子乱数生成器では、未来の世界で大きな変化があった場合に 1 が検出され易くなり、光子が装置で検出された場合に 0、そうでは無い場合に 1 と抽出される量子乱数生成器では、未来の世界で大きな変化があった場合に 0 が検出され易くなると考えられます。

多くの量子乱数生成器では前者の構造を採用されている様です。

故に、当ソフト上にて 1 時間のタイムフレーム上にて、3 フレーム連続で平均値が上昇していた場合には、CURRENT FRAME 上の時間内に、世界で大きな変化が起こり得ると考えられます。

ただ、その 1 時間内のどの時間に世界で大きな変化が発生するのかは、この段階では明白とは言えません。

しかし、他の「30 分」「15 分」「7 分 30 秒」のタイムフレームでも、3 フレーム連続で平均値の上昇が確認出来た場合、7 分 30 秒程度の未来の世界の大きな変化まではピンポイントで予測可能になるとは考えられます。

標準偏差に関しては、未来の世界に特に大きな変化が無かった場合には、0 と 1 がほぼ等しい確率で出現すると考えられる為、標準偏差はこの状態では最も高い状態と考えられますが、未来の世界に大きな変化が発生し、量子乱数生成器から抽出される値に隔たりが発生した場合、乱数データのバラツキは少なくなると考えられるため、標準偏差は低下し始めると言えます。

標準偏差に着目した場合、当ソフト上にて 1 時間のタイムフレーム上にて、3 フレーム連続で標準偏差が減少していた場合には、CURRENT FRAME 上の時間内に、世界で大きな変化が起こり得ると考えられます。

ただ、その 1 時間内のどの時間に世界で大きな変化が発生するのかは、この段階では明白とは言えません。

しかし、他の「30 分」「15 分」「7 分 30 秒」のタイムフレームでも、3 フレーム連続で標準偏差の減少が確認出来た場合、7 分 30 秒程度の未来の世界の大きな変化まではピンポイントで予測可能になるとは考えられます。

2-2. 個人所有の量子乱数生成器の利用方法について

2017 年現在、量子乱数生成器が一般的かどうかと言うならば、一般的ではないと思えます。

その大きな理由の一つに、研究者の間でのスタンダードとも言える量子乱数生成器は現状では高価であり、個人で所有するには敷居が高い事が挙げられるのかもしれません。

少なからず、安価な量子乱数生成器も登場してきている様に思えますが、それらの間に共通のドライバ等があるのかも不明であり、当ソフトウェアにて、直接的に様々な量子乱数生成器に対応させる事が困難である事が現状と言えます。

その為、当ソフトウェアでは、個人所有の量子乱数生成器をファイル経由で分析可能にする方法を提供しているので、その方法を説明したいと思います。

個人所有の量子乱数生成器を利用するには、まず、最初に、個人所有の量子乱数生成器のマニュアルを見て、乱数データをファイルに出力するプログラムを作成し、ロードモジュール化して下さい。

どの様にコーディングすべきかという点につきましては、C 言語上にて `rand()` 関数を使用して、乱数データをファイルに出力するサンプルコードを以下に作成しましたので、参考にして頂ければと思います。

以下のサンプルコードの「`rand()`」の部分量子乱数を返却する関数に書き換える事で、同プログラムが存在するカレントディレクトリ上に「`random_data.txt`」というファイルが生成され続けます。

このファイルのパスを、当ソフトの「メニュー」→「ツール」→「乱数取得先設定(S)」から設定して頂ければ、個人所有の量子乱数生成器を当ソフトウェア上で使用する事も可能と思われます。

量子乱数生成器の乱数生成能力が非常に低い場合には、06 行目の `UPPER_LIMIT` の値を 32 以上の値の範囲で下げる事で、一度にファイルに書き出される 16 進数の乱数の桁数も抑制可能になります。

また、「`rand()`」関数に代わる量子乱数を生成する関数は、世界に大きな変化が無い平常時の場合に、 $0 \sim 16x-1$ (x は自然数) の範囲で均等に乱数を抽出可能な関数が望ましいと言えます。

```

01 #include <stdio.h>
02 #include <stdlib.h>
03 #include <time.h>
04
05 #define FILE_PATH "random_data.txt"
06 #define LOWER_LIMIT 32
07 #define UPPER_LIMIT 1024
08
09 /*ファイル名をpath,内容をstringとしたファイルを作成する*/
10 int file_string_write(const char *path,const char *string){
11     FILE *wfp;
12     int i;
13
14     wfp=fopen(path,"w+");
15
16     for(i=0;string[i]!='\0';i++) fputc(string[i],wfp);
17
18     fclose(wfp);
19
20     return 0;    //ファイル完成
21 }
22
23 /*乱数生成処理*/
24 char *get_randomize_data(int size){
25     char *out;
26
27     int i,r;
28
29     //入力サイズが異常な場合
30     if(size<LOWER_LIMIT || size>UPPER_LIMIT) return NULL;
31
32     out=(char*)malloc(sizeof(char)*(UPPER_LIMIT+1));    //メモリの確保
33     if(out==NULL) return NULL;    //メモリの確保に失敗した場合
34
35     //乱数データの格納処理
36     for(i=0;i<size;i++){
37         r=rand()%16;
38
39         if(r>=0 && r<=9) out[i]='0'+r;
40         else out[i]='a'+r-10;
41     }
42     out[i]='\0';
43
44     return out;
45 }
46
47 void main(void){
48     char *get;
49
50     while(1){

```

```
51     printf("乱数生成開始\n");
52
53     get=get_randomize_data(1024);
54
55     printf("乱数生成終了\n");
56
57     if(get!=NULL){
58         printf("ファイル書き込み開始\n");
59
60         file_string_write(FILE_PATH,get);
61         free(get);
62
63         printf("ファイル書き込み終了\n");
64     }
65
66     sleep(1);
67 }
68 }
69
```

3. 最後に

#1

当ソフトウェアの補足的な使用方法と致しまして、当ソフトウェアを簡単に初期化するには、当ソフトウェアのカレントディレクトリ内の「log_files」「setting_files」ディレクトリを削除するという方法も存在する事を提示致します。

#2

当ソフトウェアの開発に当たっては注意を払ってコーディングしていると自負はしておりますが、不具合を含んでいる可能性を完全には否定出来ません。

不具合の可能性を含め、当ソフトウェアの使用による損失に関して、私は一切責任を持てませんので、ご自身の責任の上でご使用を検討してください。

不具合報告を頂ければ、不具合と確認された場合、可能なら修正版をリリースしたいと考えている所存です。

不具合報告はメールにて御一報頂ければと思います。

#3

当ソフトウェアは「ドネーションウェア(フリーウェア(寄付歓迎))」です。

寄付を募った理由は、当ソフトウェアの継続的なバージョンアップには、研究費を要しているためです。

当ソフトウェアは全機能を制限なしにご利用いただけますが、寄付にご協力出来る方がいらっしゃいましたら、寄付をお願い致します。

寄付につきましては、ベクター社のシェアレジサービスにて受け付けております。

ソフト名称 : STEINS:SCOPE / 1口:826円(手数料及び税込1000円(2018年8月現在))

http://shop.vector.co.jp/service/servlet/NCart.Add?ITEM_NO=SR425260

Copyright: Masuda Hironori

URL: <http://tandemoronbun.web.fc2.com/index.html>

Mail: darmath1107@yahoo.co.jp